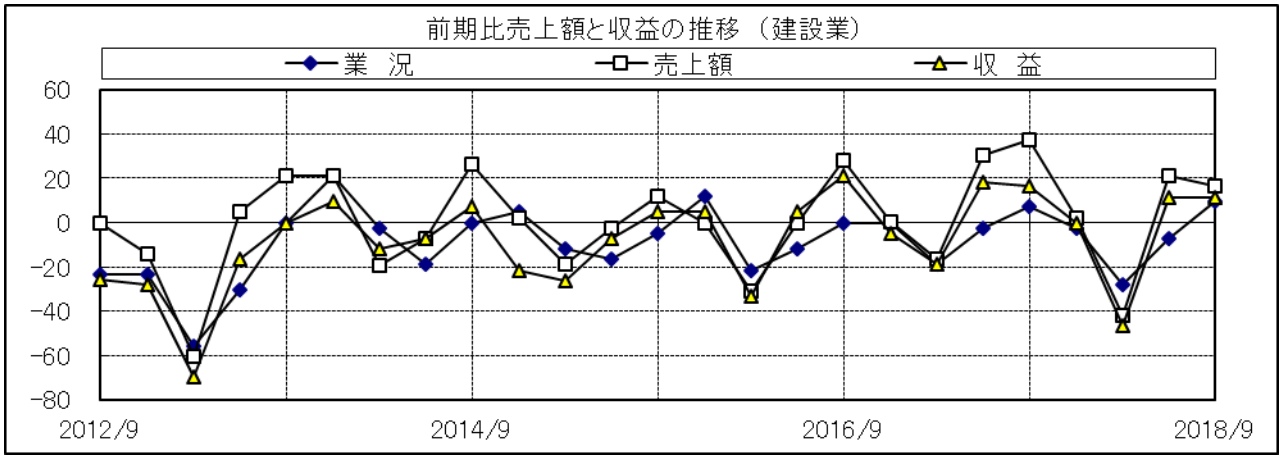
# *建　設　業　43企業（回答率100.00%）の調査結果です*

## □　景　　況

| DI値の推移 | 1～3月期実績 | 4～6月期実績 | 7～9月期実績 | 10～12月期見通し |
|---|---|---|---|---|
| 業　況 | -27.9 | -7.0 | 9.3 | 0.0 |
| 売上額 | -41.8 | 20.9 | 16.3 | -14.0 |
| 収　益 | -46.5 | 11.5 | 11.6 | -14.0 |

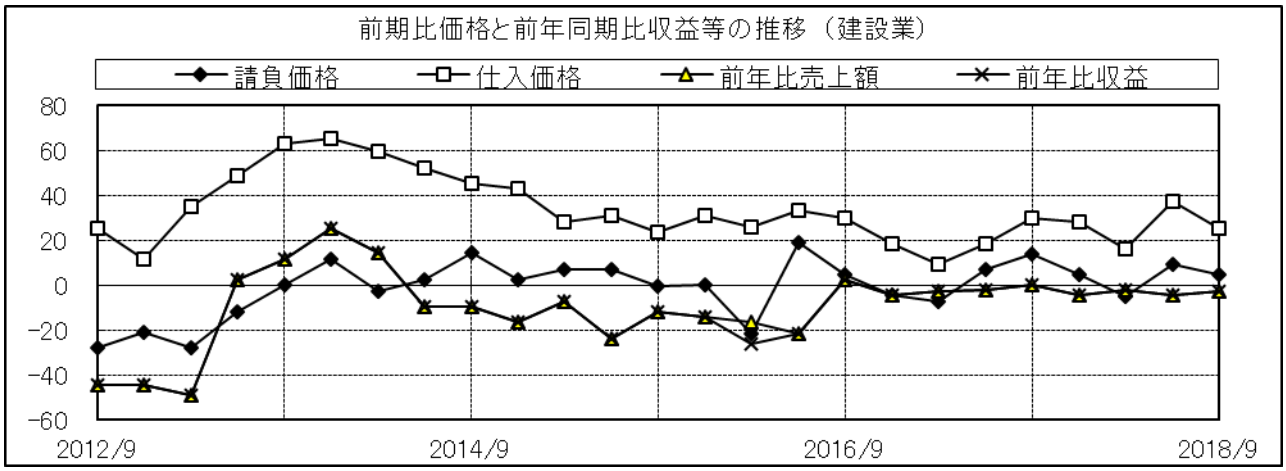
今期の業況判断 D.I.は 9.3 で、前期比 16.3 ポイント上昇、前年(7.0)比では2.3ポイント上昇した。地区別 D.I.の水準は高い順に、えりもが最も高く、様似、広尾が同率で続き、次に静内、浦河が同率、三石が最も低い水準となった。売上額判断D.I.は、前期比で4.6ポイント下降した。収益判断D.I.は前期比で0.1ポイント上昇した。




## □　価格面の動き・前年同期に比べた動き

| DI値の推移 | 1～3月期実績 | 4～6月期実績 | 7～9月期実績 | 10～12月期見通し |
|---|---|---|---|---|
| 請負価格 | -4.7 | 9.3 | 4.8 | -4.7 |
| 仕入価格 | 16.3 | 37.2 | 25.6 | 13.9 |

請負価格判断 D.I.は 4.8 で、前期比 4.5 ポイント下降、前年(14.0)比 9.2 ポイント下降した。仕入価格判断 D.I.は 25.6 で、前期比 11.6 ポイント下降、前年(30.2)比 4.6 ポイントの下降となった。




## □　雇用面の動き

| DI値の推移 | 10～12月期実績 | 1～3月期実績 | 4～6月期実績 | 7～9月期見通し |
|---|---|---|---|---|
| 残業時間 | -9.3 | 0.0 | 0.0 | -7.0 |
| 人手状況 | -16.3 | -11.6 | -14.0 | -18.7 |

残業時間判断D.I.は0.0と前期と同水準となり、残業時間に変動はなかった。

人手過不足判断 D.I.は△14.0 と、前期比 2.4 ポイント下降し、人手不足感が強まった。

## □　設備投資の動き

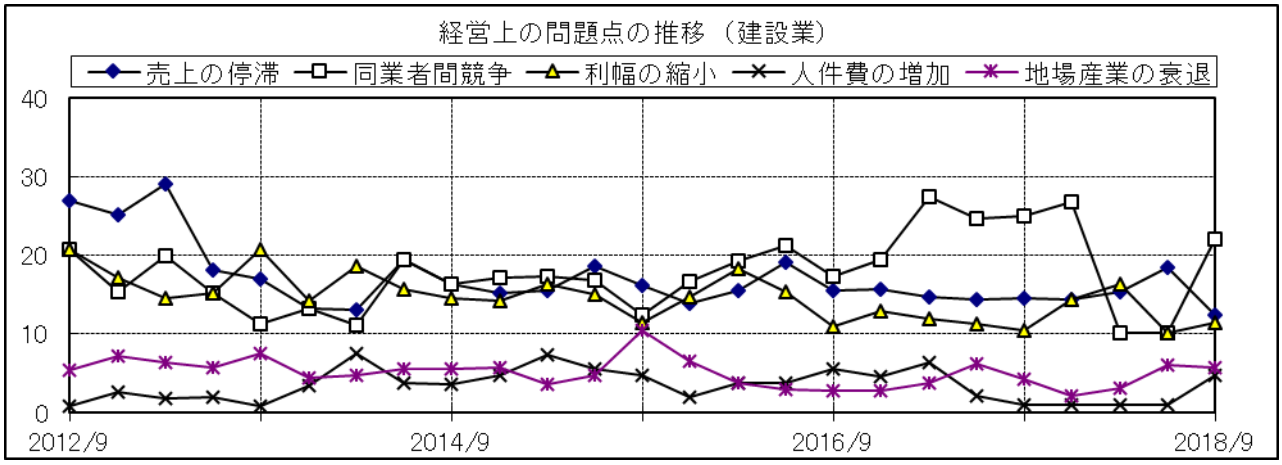
設備投資の充足感を示すD.I.は0.0で、前期(2.3)比で2.3ポイント下降した。

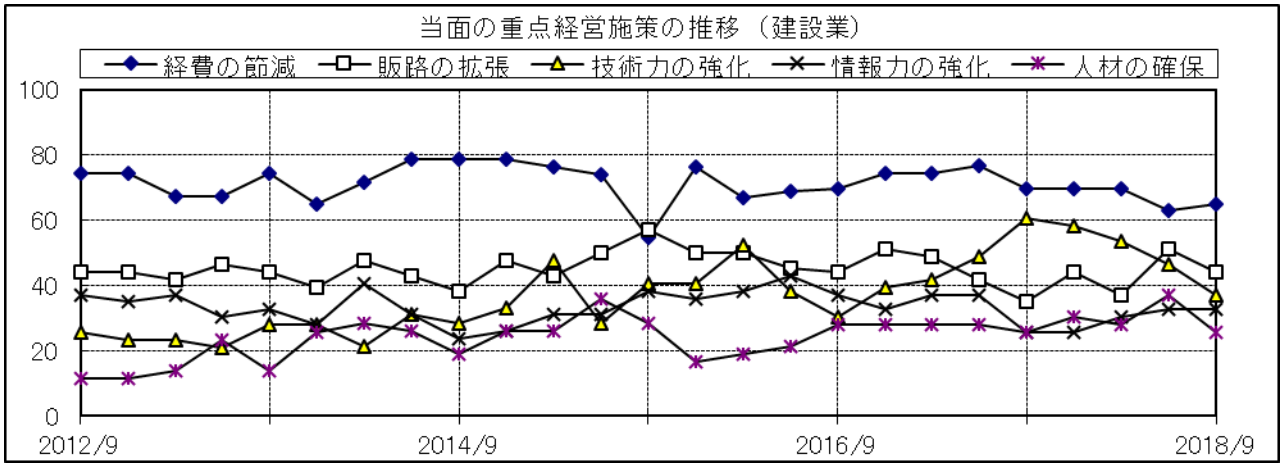
設備投資実施企業割合は16.3と、前期(11.6)比で4.7ポイント上昇した。設備投資は、前期5社に対し、7社の実施となった。来期の設備投資は、3社の予定となっている。

## □　経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「同業者競合」が22.1%と最も多く、「売上停滞減少」・「人手不足」が同率の12.5%、「利幅縮小」11.5%、「大手企業競合」9.6%、「材料価格上昇」6.7%、「天候不順」・「地場産業衰退」が同率の5.8%、「下請け確保難」・「人件費増加」4.8%と続いている。

重点経営施策では、「経費節減」が65.1%と最も多く、「販路拡大」44.2%、「技術力強化」37.2%、「情報力強化」32.6%、「人材確保」25.6%と続いている。




## □　来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は0.0と、今期比9.3ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は△14.0と、今期比30.3ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D.I.は△14.0と、今期比25.6ポイントの下降を見通している。

予想請負価格判断D.I.は△4.7と、今期比9.5ポイントの下降を見通している。

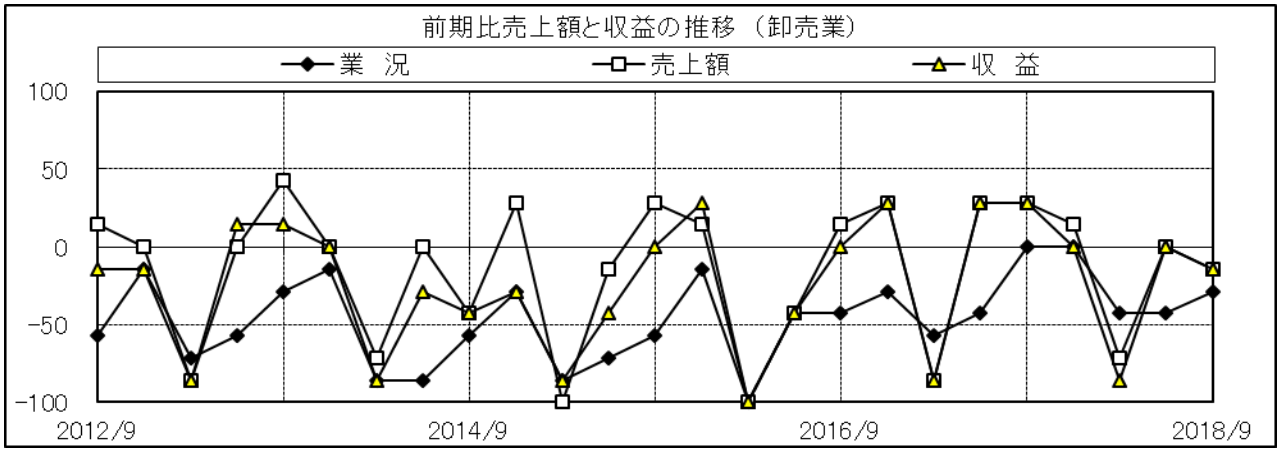
予想仕入価格判断D.I.は13.9と、今期比11.7ポイントの下降を見通している。

# *卸　売　業　7企業（回答率 100.0%）の調査結果です*

## □ 景　　況

| DI 値の推移 | 10～12 月期実績 | 1～3 月期実績 | 4～6 月期実績 | 7～9 月期見通し |
|---|---|---|---|---|
| 業　況 | -42.8 | -42.9 | -28.6 | -14.3 |
| 売上額 | -71.5 | 0.0 | -14.3 | -14.3 |
| 収　益 | -85.8 | 0.0 | -14.3 | -14.3 |

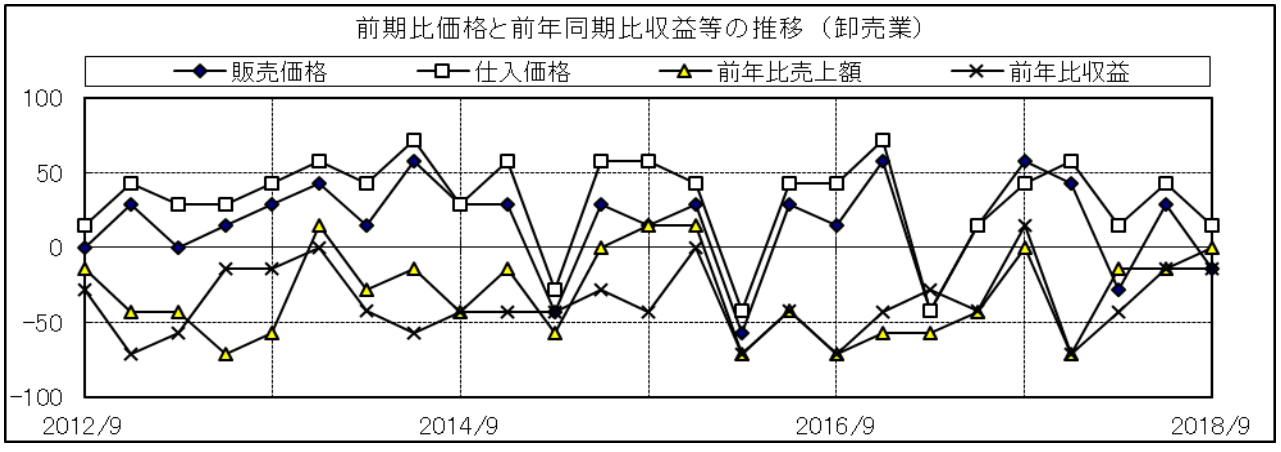
今期の業況判断 D.I.は△28.6 で、前期比14.3ポイント上昇した。前年(0.0)比 28.6 ポイント下降した。地区別の水準は、浦河地区は上昇、様似地区は下降、静内地区は横這いとなった。売上額判断 D.I.は△14.3 となり、前期比14.3ポイント下降。収益判断 D.I.も△14.3 となり、前期比 14.3 ポイント下降した。




## □ 価格面の動き・前年同期に比べた動き

| DI 値の推移 | 1～3 月期実績 | 4～6 月期実績 | 7～9 月期実績 | 10～12 月期見通し |
|---|---|---|---|---|
| 販売価格 | -28.6 | 28.6 | -14.3 | 0.0 |
| 仕入価格 | 14.3 | 42.9 | 14.3 | 0.0 |

販売価格判断 D.I.は△14.3 で、前期比 42.9 ポイント下降、前年(57.1)比で 71.4 ポイント下降した。仕入価格判断 D.I.は 14.3 で、前期比 28.6 ポイント下降、前年(42.8)比で 28.5 ポイント下降した。業種別では、水産業は販売価格が下降、仕入価格は横這い。食品業は、販売・仕入価格ともに下降した。




## □ 雇用面の動き

| DI 値の推移 | 1～3 月期実績 | 4～6 月期実績 | 7～9 月期実績 | 10～12 月期見通し |
|---|---|---|---|---|
| 残業時間 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 |
| 人手状況 | -28.6 | -28.6 | -14.3 | -14.3 |

残業時間判断D.I.は0.0で、前期比14.3ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D.I.は△14.3 で前期比 14.3 ポイント上昇となり、人手不足感が弱まった。

## □　設備投資の動き

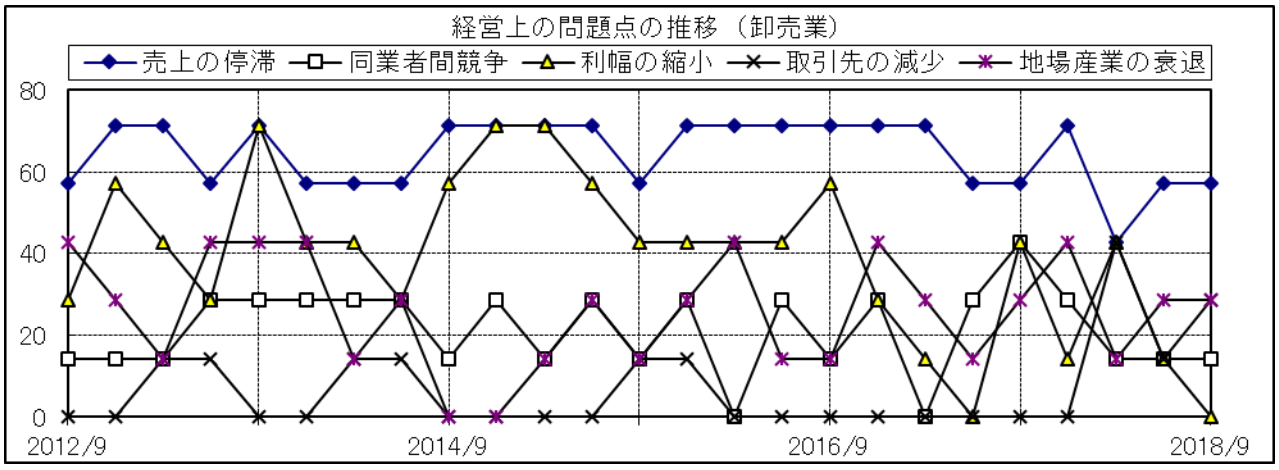
設備投資の充足感を示すD.I.は△14.3で、前期(△14.3)と同水準となった。

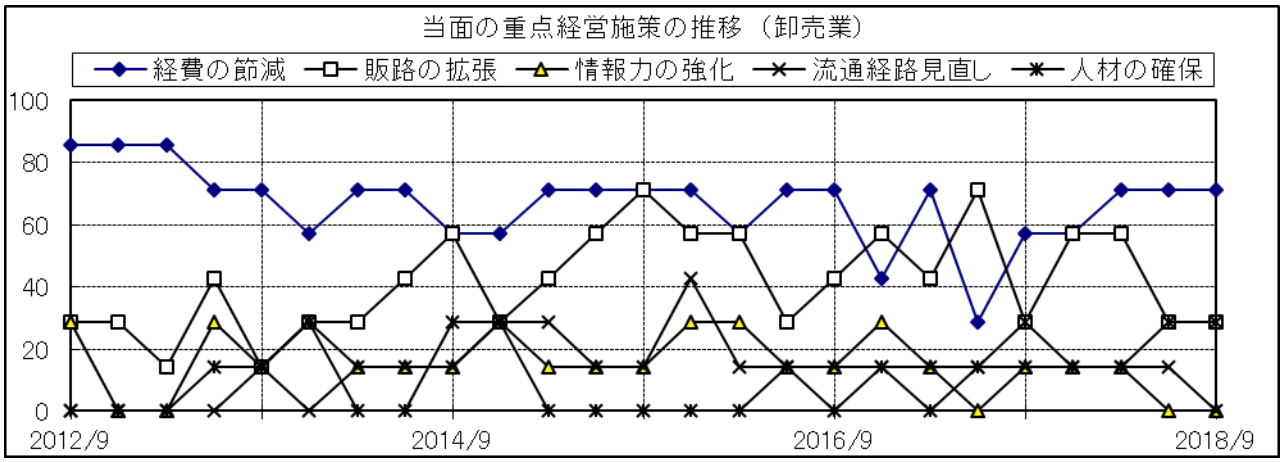
設備実施企業割合は0.0で、前期(0.0)と同水準となった。設備投資は、前期0社に対し、実施企業は0社。来期の設備投資予定も0社となっている。

## □　経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が 57.1%と最も多く、「天候不順」42.9%、「販売商品不足」・「取引先減少」・「地場産業衰退」が同率の 28.6%、「同業者競合」・「諸経費増加」・「店舗老朽化」が14.3%と続いた。

重点経営施策では、「経費節減」が71.4%と最も多く、「販路拡大」・「人材確保」が28.6%、「品揃え充実」・「新事業開始」・「パート化」・「不動産有効活用」が14.3%となっている。




## □　来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△14.3と、今期比14.3ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D.I.は△14.3と、今期と同水準を見通している。

予想収益判断D.I.は△14.3と、今期と同水準を見通している。

予想販売価格判断D.I.は0.0と、今期比14.3ポイントの上昇を見通している。

予想仕入価格判断D.I.は0.0と、今期比14.3ポイントの下降を見通している。